



音央ちゃん(平成19年8月6日生)
両親＝常世田透・真美さん〔琴田〕
「おしゃべり大好きな
元気な男の子だよー!!」



優樹ちゃん(平成18年2月7日生)
両親＝遊橋洋志・千栄子さん〔二〕
「乗り物大好き。はやく
大人になって、乗りたいなあ」



瑠菜ちゃん(平成19年11月13日生)
両親＝山口剛・泰子さん〔二〕
「わたし野菜大好き!
にんじん生でも食べられるよ。」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



あさひ浪漫紀行

—文化財を訪ねて—

⑤ 毘沙門天

びしゃもんてん

夏目漱石の『夢十夜』に、運

慶が思いのままに仁王像を彫っている場面があります。感嘆する主人公に、そばにいた人が、あれは作っているのではなく、木の中に埋まっている像を掘り出すのだ、と説きます。不思議に思いながらも、主人公は帰って仁王像を彫ってみますが、当然のごとく掘り当てることのできません。

卓越した技は常人にはとうてい真似できないこと、そしてかつての技を上回るものが見いだせないことを物語っているようです。そうした力強く、今にも動き出しそうな彫刻が密蔵院毘沙門堂(萩園)に安置されています。仏土の北方を守護し、現世利益を導く武神・毘沙門天立像(写真)です。

四天王の一人「多聞天」(サンスクリット語で、よく聞く所の者、の意)とも呼ばれますが、独尊で祀られる場合、一般的に毘沙門天と呼ばれています。



当像は、運慶の流れをくむ慶派正統の作風で、甲冑を身にまとい、右手の戟で仏土を守り、左手の宝塔で福財を施す姿勢を見せます。檜の寄木造りで、玉眼をいれ、写実的で力強い作風、そして表現に定式化が見られることから、鎌倉時代の終わりごろから室町時代の初頭にかけて作られたものと推定されています。

戦乱の中で生まれ、時の流れとともに所在の移動を余儀なくされ、火災の憂き目に遭いながらも、常に地域の信仰のよりどころとして、修復を繰り返しながら大切にされてきました。現在、毎月三日の午前中に開帳されています。

〔生涯学習課文化振興班〕

暮らしのカレンダー

- 1日(土) サマーフェスタ in 矢指ヶ浦
矢指ヶ浦・飯岡海水浴場開設中(～23日(日))
飯岡海浜プール開設中(～30日(日))
- 2日(日) 天の川ライブフェスティバル
(13:00～ 東総文化会館)
- 6日(木) 七夕市民まつり(～7日(金) 中央商店街路上ほか)
- 9日(日) 「私の八月十五日展」開催記念特別講演会
(14:00～ 東総文化会館)
- 15日(土) 戦没者を追悼し平和を祈念する日
- 30日(日) 衆議院議員選挙投票日

古紙配合100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

市内局番「60番台→50番台」「50番台→60番台」へかけるときは「0479」が必要です。

編集後記

夏がやってきました。海や花火にお祭りなど、楽しいことが盛りだくさんのシーズン。お祭りなどの取材を太陽の下でしていると、知らぬ間に日に焼けてしまつて肌が真っ赤になってしまいます。そんな日のシャワーは思わず絶句。過度の日焼けは良くないので、日焼け対策を心掛けたいと思っています。

イベントの多いこの時期は、私たち広報がいろいろな場所に出現すると思います。カメラを向けても煙たがらずに、夏の太陽に負けないくらいにまぶしい笑顔でお出迎えください。(A)